

## スマートインターチェンジ整備に係る予算流用について

## 1 要旨

(仮称)館山寺スマートインターチェンジの整備に関し、当初計画では、過年度に実施した地質調査に基づき、下りインターチェンジのバスストップ周辺の切土により発生する土をインターチェンジ本体の盛土として使用する計画であったが、試験掘削をしたところ、盛土材として適さない粘性土、シルト質の土が多く混入していたことから、利用を予定していた約12,000m<sup>3</sup>の土が不足することとなり、購入土等の調達並びに不良土の処分を行う必要が生じた。

工事の実施が補正予算の議決後になると工事が執行できず、平成30年度末に予定するスマートインターチェンジの開通が遅れるおそれがあることから、他事業予算の一部を流用して工事着手するもの。

## 2 事業内容

- ・盛土材調達並びに不良土処分 92,000千円

## 3 事業費 92,000千円(財源 一般財源)

3.6 土木費 0.6 道路橋りょう費 5.0 道路企画費

7.0 スマートインターチェンジ関連整備事業

	事業	節	細節	金額
流用元	0.6 国交付金事業	1.3 委託料	1.4 その他	75,938千円
		2.2 補償	0.1 補償金	16,062千円
流用先	2.1 単独事業	1.3 委託料	1.4 その他	92,000千円

## 4 流用後の対応

9月議会において補正予算案を提出し、流用の戻しを行う予定。

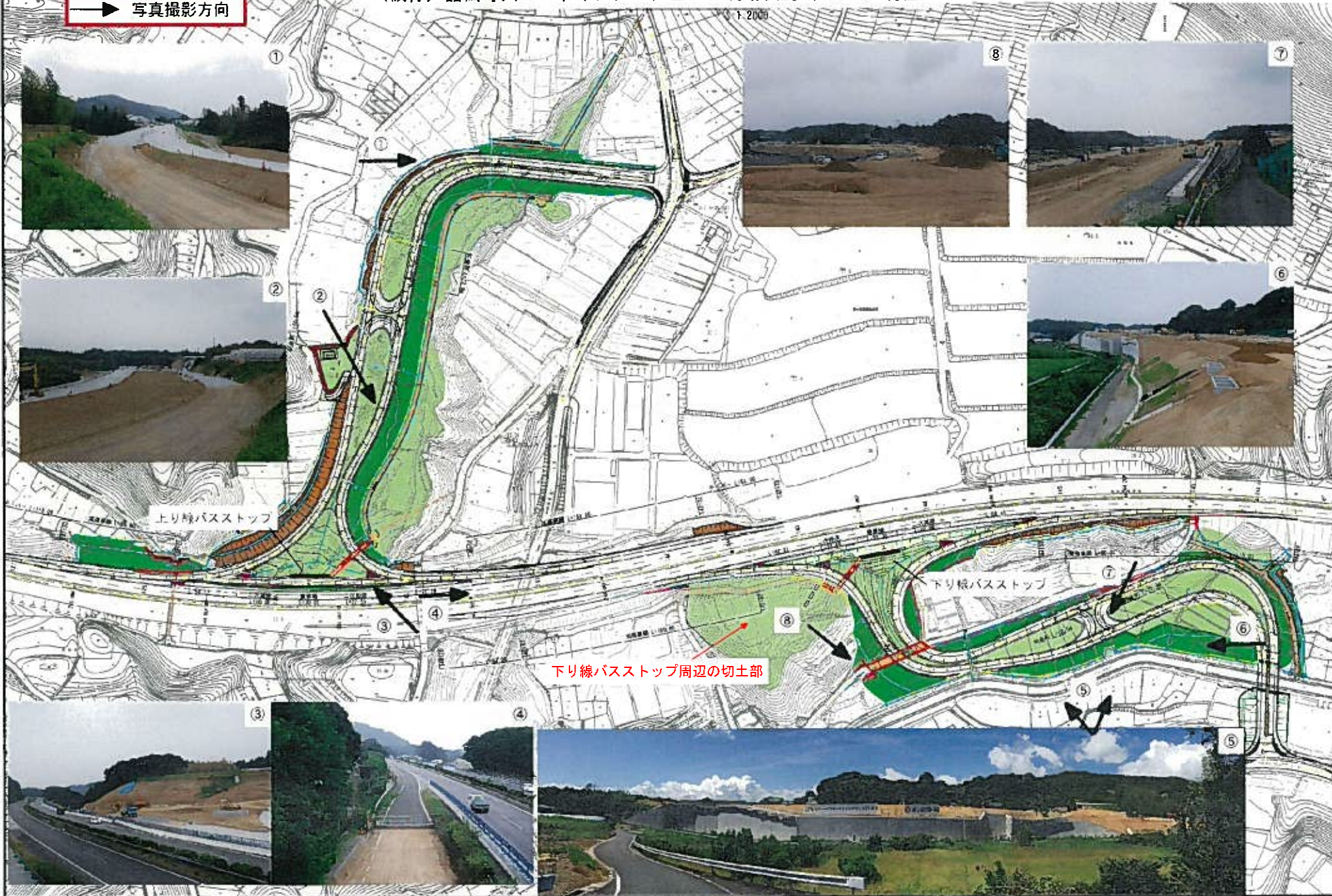
## 5 今後のスケジュール

- ・平成30年8月下旬までに中日本高速道路(株)と委託契約し、工事に着手する。
- ・平成30年9月末までに本体土工を終了予定。



(仮称) 館山寺スマートインターチェンジ現場状況 (H30.7. 現在)

写真撮影方向



上り線バスストップ

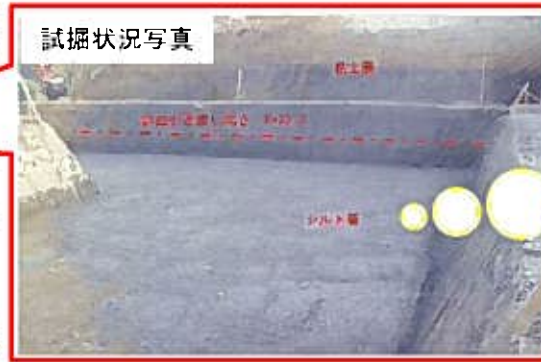
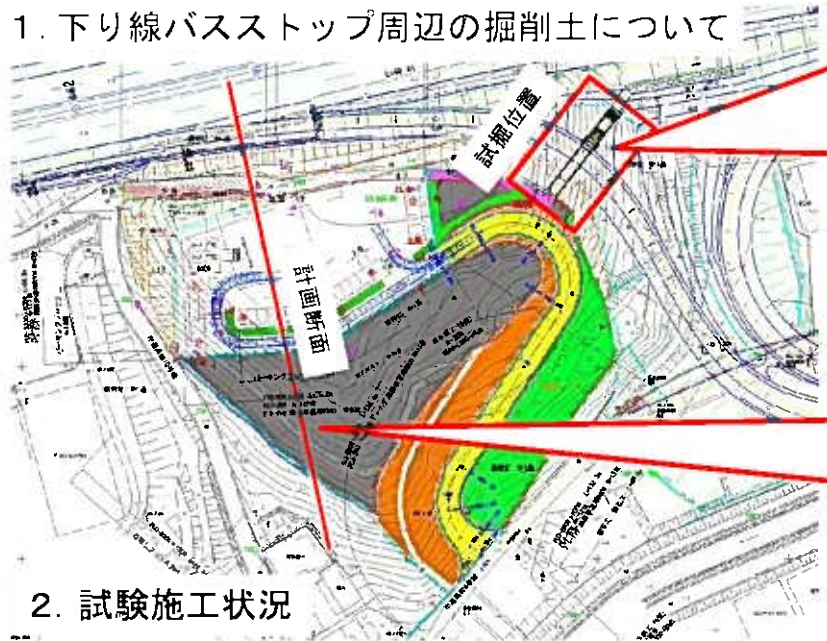
下り線バスストップ

下り線バスストップ周辺の切土部

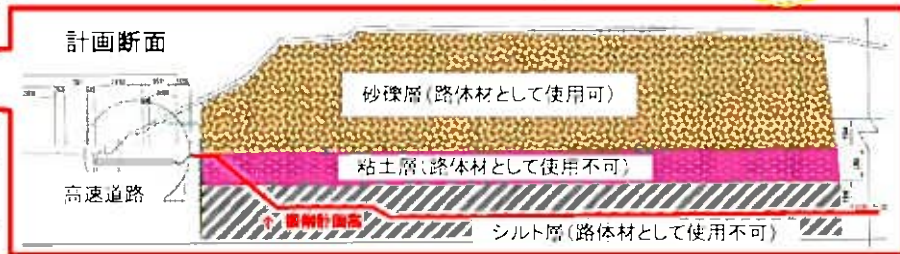


# (仮称)館山寺スマートインターチェンジ

## 1. 下り線バスストップ周辺の掘削土について



土質性状は締固めに従い強度が低下するものである。  
路体材として使用する場合には、セメント等による性状改善を行う必要があるが、改良土として使用する場合は、開通が遅れる。



## 2. 試験施工状況



## 3. 路体材として使用不可能な粘土・シルトの数量

土質	数量	運搬先
粘土	6,500m <sup>3</sup>	民間残土処分場
シルト	5,500m <sup>3</sup>	防潮堤
計	12,000m <sup>3</sup>	



不足する盛土材の調達はNEXCO所有の土砂を使用する  
(浜松いなさIC付近の仮置き場から運搬)